



地元力財団

あなたの「ほっとけない」が見つかる これからの社会貢献 100

何が課題？数字でみる和歌山県

和歌山県は先日、「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、公表しました。このなかで「産業の創出」が柱のひとつとして挙げられています。和歌山県からの人口流出を防ぐためには働く場所の確保が重要なポイントのひとつ。そこで、和歌山県では企業誘致をすすめるだけでなく、県内における「開業率」を全国平均を超える水準に引き上げることを目標としています。

和歌山県内の「新規開業」に関する統計はいくつかありますが、2012年総務省「就業構造基本調査」によると、同年の和歌山県内における「新規開業者」は8300人で、人数では42位、人口あたりでは37位と下位になっています。同じ調査によると、同年の和歌山県内の自営業者数は約7万人で33位ですが、人口あたりでは全国トップ。したがって、和歌山県は自営業者は多いものの、新しく事業を立ち上げる人が減少している傾向にあることがわかります。

和歌山県は先日、「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、公表しました。このなかで「産業の創出」が柱のひとつとして挙げられています。和歌山県からの人口流出を防ぐためには働く場所の確保が重要なポイントのひとつ。そこで、和歌山県では企業誘致をすすめるだけでなく、県内における「開業率」を全国平均を超える水準に引き上げることを目標としています。

わがやま地元力応援基金「チャレンジファンド」のご案内

高校卒業後 90% の若者が県外に出て行ってしまいう和歌山県において、チャレンジ精神のある若者は貴重な資産です。そうした若者がチャレンジ精神を持って何かに取り組もうとしても、人脈や情報がなかったり、資金がないといった問題に直面することがあります。

- 自らチャンスをつかむ意欲のあるチャレンジャーを募集しています。
- NPO でも企業でもなく、実行委員会形式で活動している任意団体や個人で何かチャレンジしたい人も申請できます。
- 随時募集。公開プレゼンテーションで、自分のやりたいチャレンジを紹介いただき、選考会で審査します。
- 本ファンドへのご寄附も募集中。わかやま地元力応援基金までお問い合わせ下さい。なお、本ファンドへのご寄附は税制上の優遇措置の対象となります。

Editor's Voice

地元力財団では「地元に対する想いを寄附に託す」という新しい寄附の「カタチ」を提案しています。寄附はもちろん、明日からできる「あなたらしい」社会貢献のカタチを紙面で紹介してきました。当財団では「社会貢献支援相談窓口」を開設し、個人や団体、企業のみならず、地元に対する想いをカタチにしていくお手伝いをしたいと考えています。

また、昨今の社会貢献意識の高まりを受け、遺産を地元のために活かしてほしいという声やニーズはますます高まっています。地元の課題が多種多様になるなか、それらの声に応える新しい仕組みが求められています。公益財団法人わかやま地元力応援基金では、「遺産を地元のために提供したい、寄附したい、活用してほしい」という想いと、大切な遺産を地元の市民公益活動団体へつなぎ、活用していくための相談を受け付けています。

■お問い合わせ先
公益財団法人わかやま地元力応援基金「これからの社会貢献 100」係
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-428-0011 FAX 073-428-0012
E-mail info@jimotofund.jp

人口 100 人あたり起業家数

1. 東京都	1.90 人
2. 神奈川県	1.30 人
3. 埼玉県	1.29 人
4. 群馬県	1.25 人
5. 山梨県	1.22 人
6. 大阪府	1.20 人
7. 徳島県	1.19 人
22. 京都府	0.98 人
23. 兵庫県	0.96 人
34. 奈良県	0.88 人
36. 三重県	0.87 人
37. 和歌山県	0.84 人
43. 滋賀県	0.76 人

出典：2012 年就業構造基本調査 TOP5 と和歌山・近隣府県を抜粋

は困難だった事業を、地域住民等を主体とした法人格で一括して運営することが想定されています。

NPO 紙上講座 (11) NPO を取り巻く環境④

前回のこのコーナーでは認定 NPO 法人について取り上げました。今回はいま注目を集めている「休眠預金」の活用による「民で民の活動を支える取り組み」についてご紹介します。

金融機関で 10 年以上なんの動きもない預金口座は「休眠預金」と呼ばれ、一般の預金とは区別されます。休眠預金になる前に口座名義人には通知がなされますし、申請をすればもちろん入出金等の対応はしてもらえますが、金融機関に転居届が出されておらず通知が届かなかったり、本人確認が現在よりも緩い時期に、勝手に家族が口座を開いたり、といった理由で、放置状態になる預金は毎年数百億円にのぼるとされています。

これまで「休眠預金」は税制上の要請から各金融機関が収益として計上していましたが、もともとは市民の預金。この資金を公益的な活動に活用してはどうか、という議論が出てきました。外国の事例を参考にしながら休眠預金の用途を検討する民間発の「休眠口座国民会議」が結成されました。国会でも超党派による「休眠預金活用推進議員連盟」が法案を検討。互いに議論が進められ休眠預金活用に関する法案が今国会に提出される見通しになりました。

休眠預金は活用方法が法律で規定される見通し。現段階の法案骨子によると、休眠預金は預金保険機構に移管後に「指定活用団体」に交付。指定活用団体は全国の資金分配団体（財団・社団・NPO・NPO

バンク等）を通じて地域の NPO・ボランティア団体等に助成・貸し付けをおこなうこととしています。活用目的は、①生活困窮者等の日常生活、社会生活が困難な方の支援、②子ども・若者の支援、③地域社会の活力の低下、社会的困難な状況に直面している地域の支援、④その他政令で定める事業に限定。また、民間の創意工夫を活かすとともに民間による資金調達活動の支援にも活用することとしています。

制度施行まではまだしばらく時間がかかりますが「行き先がないお金」を「意思ある資金」に替えるこの取り組みがどう地域に根付くか注目です。



※1 休眠預金の発生額は年により異なります
※2 休眠預金になる旨の通知を受け、毎年3割程度が預金者に払い戻されていますが、この額も年により異なります

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- おまわりさんの「たそがれコンサート」
この時期恒例の県警音楽隊によるコンサートです。
日時 6月26日(金) 18:00～19:00
場所 和歌山県立近代美術館・博物館エントランス広場
参加費 無料
問い合わせ 和歌山県警察本部・警察音楽隊 (073-482-0110・海南警察署内)
備考 警察事象や天候等により行事が中止や変更になる場合があります。
- 昆虫の標本を作ろう
小学生以上が対象です。事前申込みが必須。
日時 6月27日(土) 9:30～11:30
場所 和歌山市四季の郷公園・ネイチャーセンター
参加費 無料
定員 40名(申込み先着順)
対象 小学生以上
問い合わせ・申込み 四季の郷公園 (073-478-3707)
備考 虫捕り用の網を持参ください。雨天時は説明会を実施。
- はじめての男女共同参画エキスパンダー養成講座 in 和歌山
様々な分野でリーダーとなる人材(エキスパンダー)を養成する連続講座。今年度はファシリテーション、情報リテラシー、プランニングを学びます。
日時 7月4日(土) 10:00～15:00
場所 りいぶる会議室 A (和歌山ビッグ愛9階)
講師 鳥淵朋子さん(アクト研究室代表)
参加費 無料(事前申込み必要)
問い合わせ・申込み 和歌山県男女共同参画センター (073-435-5245・FAX 073-435-5247・メール libre@sirius.ocn.ne.jp)
備考 一時保育は6月24日締切。8月1日・22日も開催。
- パワハラ対策研修会
パワハラの現状・課題、職場づくりなどを考えます。
日時 7月11日(土) 13:30～16:30
場所 ブラザホープ4階ホール
参加費 無料(事前申込み必要)
和歌山県労働政策課ウェブサイトから申込書をダウンロードして必要事項を記入し送付。
締切 6月23日(ただし60名に達し次第締切)
問い合わせ 和歌山県労働政策課 (073-441-2791)